

ラピッド・クレジット・ファシリティ (RCF)

ラピッド・クレジット・ファシリティ（RCF）は、緊急を要する国際収支上のニーズに直面する低所得国向け金融支援を迅速かつ譲許的に提供するものです。RCF は、危機の際なども含め、低所得国の多様なニーズに合わせて柔軟な金融支援を提供する貧困削減・成長トラスト（PRGT）の下に設けた制度のひとつです。

[PDF をダウンロード](#)

目的

外的ショック、自然災害、脆弱性に関する緊急事態など、多様な事情から喫緊の国際収支上のニーズに直面した適格低所得国に対し、譲許的で、迅速、かつ利用しやすい金融支援を提供します。

当該ニーズが一過性で限定的な性質のものであるため完全な経済プログラムが必要ないという状況や、政策実施には能力的制約があるなどの理由で完全な経済プログラムが可能でないという状況に対応します

国外からの援助を促進する助けとなり得る政策支援を提供します。

適格国

緊急を要する国際収支上のニーズに直面しているすべての PRGT 適格加盟国。PRGT の対象でない高所得国は、[ラピッド・ファイナンスング・インストルメント（RFI）](#)を利用できます。

融資枠

4 種類の融資枠

通常枠：国内の不安定性、緊急事態、脆弱性などに起因する緊急を要する国際収支上のニーズに対応します。

年間利用額がクォータの 25%という基準の下、1 年あたりではクォータの 50%まで、累計ベースでは 100%までを上限としています。クォータの 25%という融資限度額に準じます。

外因性ショック枠：突然の外因性ショックに起因する緊急を要する国際収支上のニーズに対応します。

1 年あたりではクォータの 50%まで、累計ベースでは 150%までを上限として利用できます。食料ショック枠を利用する場合は、より高い累計利用限度（クォータの 175%）が適用されます。

大型自然災害枠：自然災害によって GDP の 20%に相当するかそれを上回る規模の損害が出たとの評価がなされ、国際収支上の緊急なニーズが生じている場合に利用できます。

1 年あたりではクォータの 80%まで、累計ベースでは 183.33%までを上限として利用できます。

食料ショック枠：深刻な食料不安、急激な食料や肥料の輸入価格高騰、穀物輸出ショックによって、国際収支上の緊急のニーズが生じている場合に利用できます。

2022 年 9 月 30 日から 2023 年 9 月 29 日までの 12 か月間はクォータの 50%までを上限として利用できます。食料ショック枠は、その他の支援枠の年間利用限度額に追加して利用できます。

コンディショナリティ

プログラムの事後条件と審査はありませんが、場合によっては事前措置が必要です。

経済政策は、国際収支の根本的な問題に対処することを目的とし、当該国の貧困削減・成長の目標を支えるものでなくてはなりません。詳細は [コンディショナリティ](#) をご覧ください。

審査手順

審査なし

条件

期間

一括提供

返済期間

返済猶予期間は 5 年半、最終償還期日は 10 年

金利

現在はゼロ

利用枠

年間・累計の利用限度額による。外因性ショック枠と大型自然災害枠の現在の累計利用限度額は、2023 年 6 月までに見直します。食料ショック融資枠の見直しも 2023 年 6 月末までに実施される見込みです。

国際収支上のニーズが突然の外因性ショックを主因とするものである場合、または支援要請前に適切なマクロ経済政策を半年間実施した実績がある（IMF スタッフ・モニタード・プログラムを通じたものなど）国は、3 年以内に繰り返し利用することができます。12 か月以内の融資提供は 2 回まで。食料ショック枠に基づく融資は、2 回の融資回数制限に加算されません。

その他の融資制度

IMF の融資について、また、RCF 以外の融資制度については、各ファクトシートをご覧ください。

[拡大クレジット・ファシリティ \(ECF\)](#)

[拡大信用供与措置 \(EFF\)](#)

[フレキシブル・クレジットライン \(FCL\)](#)

[予防的流動性枠 \(PLL\)](#)。

ラピッド・ファイナンス・インストルメント (RFI)

強靱性・持続可能性ファシリティ (RSF)

短期流動性枠 (SLL)

スタンバイ取極(SBA)

スタンバイ・クレジット・ファシリティ (SCF)